

封筒募金協力をお願い

今年も10月1日から12月31日の3か月間「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に展開されます。

音更町共同募金委員会では募金用の封筒を用いた「封筒募金」により、皆様の善意の募金をお願いしております。

音更町をはじめ北海道全体の福祉の充実のため、ご協力を心からお願い申し上げます。

- ・赤い羽根共同募金は善意の募金ですので、金額についても定めはありません。匿名希望がない限り4月号の「社協だより」にお名前と募金額を記載させていただきます。
- ・領収書の発行を希望される場合は、封筒にその旨を明記願います。事務局より発行いたします。
- ・封筒に記載された個人情報については、共同募金以外の目的には使用いたしません。

納入方法・場所

①封筒ご持参の場合

■音更町共同募金委員会事務局

(音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内)

■音更町役場木野支所

(音更町木野大通西6丁目1番地)

月～金曜日(祝祭日は除く) 午前8時45分～午後5時30分

※音更町役場木野支所においてもお預かりいたしますが、領収書については後日、事務局より発送いたします。

②口座振込の場合

音更町農協・木野農協より口座振込いただけます。

それぞれ金融機関に専用の振込依頼書をご用意しておりますので窓口にお申し出ください。

(振込手数料はかかりません)

また、ご連絡いただければ職員がご自宅までお伺いいたします

※町内会によっては町内会役員や班長さんがご協力をお願いにお伺いする場合がございます。

※郵便ポストへは投函できませんのでご注意ください

北海道共同募金委員会音更町共同募金委員会
(音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内)
TEL 42-2400 FAX 42-5481

今年度の音更町共同募金委員会の目標額は
3,400,000円です



目標額とは？

赤い羽根共同募金は集まった寄付金を特定の配分先などに単純に配分しているわけではありません。まず、様々な団体に申請を呼びかけ、配分を受けるための申請をいただきます。その内容について考慮した後、配分計画を作成します。

そしてこの計画に必要な額を「目標額」に設定して募金を行う仕組みです。

赤い羽根共同募金の流れ

共同募金活動の展開方法

封筒募金

各戸へ募金用封筒を配布し、ご協力いただく募金

法人募金

企業や商店などにご協力いただく募金

町内会募金

町内会を通じてご協力いただく募金

職域募金

企業や団体などに働く方よりご協力いただく募金

学校募金

町内の小・中・高等学校にご協力いただく募金

その他の募金

イベント募金や募金箱への寄付など

寄付金付きピンバッジの購入

寄付金500円につきピンバッジ1個贈呈
 製作費を差し引いた額が音更町の募金となります

北海道共同募金会



音更町内の活動に配分

ボランティアセンター事業

地域交流サロンの推進

地域農園事業

社協だよりの発行

子ども食堂の運営補助

北海道内の活動に配分

もしもに備えた災害準備金

地域推進を目的とした総合支援事業

地域障がい児者支援事業

地域青少年児童健全育成事業

住民全般を対象とした事業

緊急性のある事業

地域交流サロンの推進

現在、町内に21か所の地域交流サロンが開設されています。お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんだり、レクレーション、体操など、参加者の興味のあることを企画しながら、交流の場となっています。令和5年度は、延419回開催され、延3,692名の方がサロンに参加されています。



令和5年度に開設されたサロン「悠遊」

地域農園事業

誰でも参加でき、農作業を通じて外出の機会、社会参加の場を創出すること、活動を通じた参加者同士の「支え合い」の関係構築を目的に地域農園事業を実施しています。

音更町柏寿協会、博愛会の2法人の協力のもと町内2か所に開設されています。

地域の方、施設利用者の方、子育てサロンの方など、色々な方に参加いただき、楽しく作業をしています。



トラクターの寄贈 ありがとうございます

オールドトラクター保存会の会長を務める茂古沼一(くに)様より、地域農園の活動に賛同いただき、音更町柏寿協会にトラクターを寄贈していただきました。

※どちらの事業も赤い羽根共同募金を財源とした事業になります

コミュニティサポート事業

「誰もが安心して生活できる町」を目指し、養成講座を修了したコミュニティサポーターの皆さんにご協力いただきながら事業を進めています

コミュニティサポーター登録者が増えてきています!!

7月19日(金)に令和6年度コミュニティサポーター養成講座を開催し、今年も新たなサポーターをお迎えすることができました。

令和2年度より、年1回の養成講座を開催してきましたが、サポーターが50名を超えました。養成講座は年1回の開催ですが、登録のご相談は随時受け付けていますのでお気軽にお声がけください。



コミサポカフェ開催中

昨年度から開始したコミュニティサポーターが運営するコミサポカフェは奇数月の第4金曜日10時から12時(総合福祉センター大集会室)に開催しています。毎回、たくさんの方にお越しいただき、おしゃべりやレクリエーション等楽しい時間となっています。



誰でも安心して、楽しめる居場所

地域の皆さんがつながる場



帯広大谷短期大学
介護福祉専攻の皆さんにも
ご協力いただいています



7月のカフェで制作した手形アート
(短大の皆さん企画)

～10月は会場を共栄コミセンに移してコミサポカフェ“特別開催”～

奇数月の通常開催のコミサポカフェとは別に共栄コミュニティセンターでの開催をします。「総合福祉センターまで来るのは難しい」という方にも是非参加いただけると嬉しいです。

- 場 所 : 共栄コミュニティセンター
大集会室
- 日 時 : 10月25日(金)
10時から12時
- 参加費 : 200円(飲み物おかわり自由)
- 申 込 : 不要

楽しくおしゃべり
しましょう!!



《ボランティア団体の活動紹介》

ボランティア活動の1つに余興ボランティアがあります。今回、町内施設の納涼祭で2つの登録団体が余興を披露してくれました。

かしわの会（代表：森さん）

かっぽれやひょっとこ踊り、南京玉すだれ等を披露してくれました。

「あなたの踊りを見ていると楽しく元気が出る。毎日でも見たい。」という言葉が今でも忘れられない、とのことでした。



三絃会（代表：三輪さん）

山形民謡の花笠音頭を皮切りに5曲の三味線と唄を披露してくれました。

「好きで三味線を続けているけれど、それで皆様に喜んでもらえるとなお嬉しい」と、話してくれました。



どちらの会もメンバー募集中です。初心者でも大歓迎ですので、興味のある方はボランティアセンター（TEL：42-5005）までお問い合わせください。



おとふけ生きいきポイント登録研修会



おとふけ生きいきポイント事業に登録するための研修会になります。

おとふけ生きいきポイント事業とは…

- ・音更町在住の65歳以上の方でボランティア活動を通じ、自身の介護予防や地域との支え合い、つながり活動を目的としています。
- ・音更町の指定する福祉施設等でボランティア活動をすると、ポイントが付与され、ポイント数に合わせた金額を受け取ることができます。

- 日 時 : 令和6年10月9日(水) 10時00分～11時00分
- 場 所 : 音更町総合福祉センター 中集会室
- 対 象 : 65歳以上の音更町民（研修会の受講・登録は無料）
 - ・今回、初めて手帳を持ちたい方
 - ・手帳は持っているが、研修会を受講したことがない方
- 内 容 : ①事業説明・介護支援者活動の心構え
②実際の活動について（受入施設より）
③登録手続き・生きいきポイント手帳交付
- 持 物 : 介護保険被保険者証、筆記用具
- 申 込 : ボランティアセンター（TEL 42-5001） 加藤まで
- 申込締切 : 10月7日(月)



第1期音更町地域福祉実践計画中間評価（案） に対するご意見の募集について

音更町社会福祉協議会では、令和4年度から令和7年度までを計画期間とする第1期地域福祉実践計画を令和3年度に策定し、地域福祉の推進に取り組んでいます。

令和5年度で計画が折り返したことから、音更町地域福祉実践計画評価委員会（以下「評価委員会」）にて中間評価を行うこととしました。

今回実施する中間評価は、第1期地域福祉実践計画各項目の「取組内容」を評価し、今後2か年の「現状と課題」「施策の方向性」を明らかにすることを目的としています。

つきましては、下記のとおり、評価委員会でまとめた「中間評価（案）」を公表し、広くご意見を求めます。

1 ご意見の募集期間

令和6年9月25日（水）～ 令和6年10月15日（火）（必着）

2 ご意見の募集対象

「第1期音更町地域福祉実践計画中間評価（案）」における、「各事業の成果についての評価」、及び「後期2か年に向けての現状と課題・施策の方向性」が妥当かどうかを伺います。

3 ご意見の提出方法

音更町社会福祉協議会のホームページの「第1期音更町地域福祉実践計画中間評価（案）に対するパブリックコメントの募集について」のバナーからお進みください。

ご意見につきましては、住所、氏名、年齢、電話番号、意見（どの項目についての意見かを明記）を記入し、電子メールまたは郵送、ファックスでお寄せいただくか、直接持参してください。

なお、音更町社会福祉協議会事務所（音更町総合福祉センター1階）にも、閲覧用の「評価（案）綴」を用意しています。ご利用ください。

4 ご意見提出上の注意

提出していただくご意見には、必ず住所、氏名、年齢、電話番号を記入してください（ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認のために使用します）。

なお、お寄せいただいたご意見についての個別の回答はいたしかねますのでご了承ください。

また、住所、氏名、電話番号を除き、内容を公表させていただくことがありますので、併せて了承願います。

ご意見をお寄せいただいた方の氏名等の個人情報については、ご意見の内容確認の連絡目的に限り利用することとし、音更町社会福祉協議会「個人情報保護規程」に基づき、適正な管理を行います。



第5号

音更町
老人クラブ連合会会報

令和6年5月現在
クラブ数 40クラブ
会員数 2,010名
男性 849名
女性 1,161名
問い合わせ先：社会福祉協議会

第43回音更町老人クラブ連合会ゲートボール大会

6月20日(木)下士幌ゲートボール場にて開催されました。
5チーム28名が参加し、熱戦が繰り広げられました。結果は優勝 西中音更チーム、準優勝 東部福寿会チーム、3位 豊田チームとなり、それぞれ芽室町で開催される十勝大会への出場権が付与されました。



単位老人クラブ情報交換会

8月23日(金)総合福祉センターにて31クラブ、68名の参加により開催されました。

帯広市在住の歌人 時田則雄さんによる講演の後、町内4つの単位老人クラブより、自身のクラブで行っている取組み等の情報提供がされました。

参加者それぞれが、改めて自身のクラブ活動の課題等を考えるきっかけとなる、非常に貴重な時間を持つことが出来ました。



第28回音更町老人クラブ連合会パークゴルフ大会

9月6日(金)に柳町河川緑地パークゴルフ場で開催され、当日は63名の参加がありました。3人または4人1組のグループに分かれ、他のクラブ会員同士、交流を深めながら楽しくプレーをしました。



老人クラブへの加入について

老人クラブは60歳以上の方であれば、どなたでも加入できます。

- ・「単位老人クラブ」は基本、ご自宅から近くの範囲で組織されています。
- ・クラブ会員は随時募集しています。
- ・体験参加も可能です。

興味のある方は、お気軽に事務局までお問い合わせください。

～単位老人クラブの活動紹介～

「我が町に災害救助犬がいることを知っていますか？」高倉老人クラブ(清野 廣志会長、会員23人)



ニーナちゃんに見つけ出された高野さん
(高倉福祉会館)

高倉福祉館の環境整備と今年は災害救助犬訓練を体験しました。

早朝から会館周りの除草作業を実施。会館近くの空き地には南瓜やサツマイモ・枝豆などを育てており、秋に行う収穫祭を楽しみにしています。

また今回の集まりでは、高倉・^{しおのやよしあき}塩谷勝克さん(67)の救助犬・ニーナちゃん^{しおのやよしあき}で訓練を体験。

隠れていた会員・高野弘一さん(82)をニーナちゃんが探し当て吠えて教えてくれました。見つけ出された高野さんは「見つけてくれてうれしかった」と感心していました。

災害救助犬とは…

犬のすぐれた嗅覚で人の吐き出す息を嗅ぎつけ災害時などに埋もれた生存者を見つけるために日頃より訓練しているワンちゃんのことです。



「ふまねっとやボッチャ等で楽しい活動を」清和いきいきクラブ(井上 博会長、会員59名)

現在の会員数は59名と、コロナ禍は思うように行事や活動を行えず、会員数も減少しましたが、月に1回の憩いの日には30名以上の会員が参加しています。

最初に全員で今月の歌を合唱。歌は唱歌と演歌を1曲ずつ歌います。それからふまねっとで身体を動かし、ボッチャで軽く汗をかいて、食事をしながらビンゴゲームを楽しんでいます。

写真のように、ボッチャは90歳を越えても楽しめるスポーツです。

6月からは弁当を着に、少しのアルコールも楽しんでいます。



「教養・友愛・健康づくり」

十勝川温泉幸生会(白木 勲会長、会員37名)

6月の例会では、1月に発生した能登半島地震を教訓に大災害の際にどのような対応をすれば良いのか、町防災危機管理推進員をお招きし、防災講座を行いました。

7月の例会では「健康づくり」をテーマに、理学療法士の堀先生より講話をいただき、先生が考案された「おとふけいきいき体操」を全員で行い、身体が軽くなりました。

その他、毎月の例会では昨年購入したボッチャを行っております。

年齢に関係なく皆さんとても上手になり、毎回笑いありで和気あいあい楽しんでいます。



「健康づくり講座」(7月例会)



フードバンク事業へのご寄付ありがとうございます

令和6年5月28日～令和6年8月23日

フードバンク事業とは、食べ物をお渡しするだけでなく、食品ロス削減にも寄与しようとする活動です。

◎物品

(敬称略)

預託品名	預託者氏名	数量	
安心米チキンライス	北海道開発局 帯広開発建設部経理課	300 食	
さば味噌煮		200 食	
豚汁		150 食	
ハンバーグ煮込み	㈱つうけんアクティブ	200 食	
白米		80 パック	
缶入りパン	国立研究法人 農業・食品産業技術 総合研究機構	33 缶	
飲料		90 本	
そのままご飯 カレーライス		30 袋	
そのままご飯 チキンライス		30 袋	
そのままご飯 五目ごはん		30 袋	
LL牛乳(12本入/箱)		よつ葉乳業株式会社	120 ケース
カップ麺		水野 尚樹	9 食
おむつ	石井 優里恵	7 袋	
生理用品		3 袋	
おしりふき		12 パック	
飲料	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	120 本	
調味料	木野農業協同組合	2 本	
缶詰		16 個	
砂糖		2 個	
乾物		18 個	
お菓子		9 袋	
日用品雑貨		9 個	
お米		木野村 英六	10 kg
カップ麺	20 食		

【匿名の寄付】

預託品名	数量
お米	81 kg
缶詰	21 缶
袋麺	15 食
飲料	24 本
レトルトカレー	23 食
ふりかけ	3 袋
のり	12 袋
調味料	2 点
麻婆豆腐の素	1 箱
ガムシロップ	2 袋
油	2 本
お菓子	13 袋
尿取りパッド	46 枚
洗剤	6 本
ティッシュペーパー	32 箱
日用品	2 点
食料品	段ボール 16 箱

★お知らせ★

外装(大袋など)の封を開け、個包装の状態での受入を中止させていただきます。
(個包装になった状態の袋に賞味期限の記載がないため)



フードバンクの日

11月23日

(勤労感謝の日)

豆知識

勤労感謝の日は五穀豊穡を祝う日でもあります。食料を大切にするという意味合いから「フードバンクの日」となりました。

11月2日(土)に開催される

福祉フェスタ

総合福祉センター内(13:30~15:30)

で、フードバンクで提供させていただく食料品・日用品を集めます。ご協力をお願いいたします。

食料品・日用品
を集めます



喫茶はっぴい〜

見学だけでも大歓迎です。お気軽にご来所ください。



音更町社会福祉協議会では、心身に障がいがあり、外出の機会が少ない方の社会参加の場として、ボランティアさんに協力いただき総合福祉センター内で「喫茶はっぴい〜」を運営しています。

●音更町内に在宅する

心身に障がいがある方

(手帳の有無は問いません。)

平日：10時～15時くらいまで

1回につき1,000円の支援費を支給

(業務内容) 飲み物・食べ物の提供、接客・洗い物・レジ打ち、
開店準備・片付け など

週
1~2回
程度

●ボランティア活動しませんか？

【時間】

平日：10時～15時

【業務内容】

障がいのある方の業務補助
簡単な調理など

月1回
程度



外出のきっかけ作りに *エプロン・三角巾は貸与します。

【場所】 音更町総合福祉センター内
音更町大通11丁目1番地

営業時間：10：30～15：00

(土日祝・休館日はお休みです)

コーヒーは
サイフォンでいれてます。

蒸気圧でお湯を下から上へ、
上から下へというように移動
させてコーヒーを抽出する
方法です。



まるで、化学の実験みたい!!
見るだけでも楽しい!!

1杯 250円

～お問い合わせ～

電話：0155-42-5005

喫茶はっぴい〜担当：加藤

* ご厚志ありがとうございました * 令和6年5月28日～令和6年8月23日

預託されました浄財を紹介いたします。 預託された浄財は配分先において有効に活用させていただきます。

社会福祉協議会の各種事業は、会員皆様の会費と寄付金等を主な財源として行っております。今後とも会員加入とご寄付につきまして、ご支援ご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

◎金 銭 (敬称略)

寄 付 者 氏 名	寄付金 (円)	寄 付 金 使 途
音更町文化連盟歌謡部	30,000	社協事業
木野村 英六	100,000	
匿名	10,000	



吟友・地域と
共に歩む会 様

◎物 品

預 託 者 氏 名	預 託 品 名	数 量
水野 尚樹	リングプル	4.2 kg
清和町内会	リングプル	1 kg
国際ソロプリミストおとふけ	リングプル	1.5 kg
伊藤 信廣・早川 にこ	リングプル	2.8 kg
谷崎 潤一	リングプル	2 kg
	かぼちゃ	60 kg
JAおとふけ	使用済切手	1,828 枚
	ベルマーク	239 枚
板矢 幸子	タオル	250 枚
吟友・地域と共に歩む会	タオル	314 枚
斉藤 洋美	使用済切手	462 枚
音更ブルースカイ	使用済切手	873 枚
川端 進	使用済切手	581 枚
中田 晴美	使用済切手	123 g
	ベルマーク	33 g
高野 辰夫	ベルマーク	12 枚

【匿名の寄付】

預 託 者 氏 名	数 量
リングプル	9.3 g
使用済ハガキ	72 枚
ベルマーク	数量不明
シーツ	数量不明
タオル・シーツ	2 枚

《預託先一覧》

・食物	→	町内施設など
・タオル類		
・使用済切手	→	北海道ユニセフ
・書き損じハガキ		
・ベルマーク	→	西中音更小学校PTA
・リングプル	→	プルネット

たくさんのご寄付をありがとうございます。

「ちょこっとボラの時間」開催します

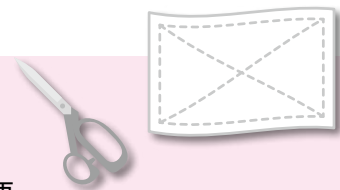
ボランティアって
なんだか
敷居が高い

まずは簡単に
できることから
始めてみたい

ボランティア活動の入門の機会となり、作業をしながら参加者同士が交流でき、ボランティアの輪が広がっていく場所を作りたい、という思いで企画しました。

今回は、皆様から寄付いただいた古タオルを裁断し、ウエスを作り、町内の福祉関係施設にお届けする予定です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

- 日 時 : 令和6年10月11日(金) 14時～16時
- 場 所 : 音更町総合福祉センター 中集会室
- 参加者 : 音更町民
- 申 込 : 不要
- その他 : 裁ちばさみ、自宅で不要になったタオルなどがあればご持参ください



高齢者就労センターからのお知らせ

冬期の一般除雪作業について

冬期の除雪について、高齢者就労センターでは、会員数の減少・高齢化等により令和4年度から、「除雪が困難な世帯」を対象とし、受付上限数を定めて作業を実施しております。

現在も会員数は減少の傾向が続いており、本年度は下記のとりの対象数とさせていただきますことにご理解とご協力をお願いします。

なお、来年度以降の除雪作業につきましても、今後の会員数等を踏まえ、実施の可否を含め検討しなければならない状況にあることをご了承くださいますようお願いいたします。

【対象世帯の範囲について】

- 1 65歳以上の高齢者のみの世帯であり、身体的又は精神的な理由により除雪が困難である場合
 - 2 65歳未満でも、重い病気などにより、除雪が困難と特に認めた場合
- ※同居の親族がいる場合（二世帯住宅を含む）や近隣に除雪対応してくれる方がいる場合は対象となりません。
※今シーズンの登録受付は**60世帯**に限らせていただきます。（事前受付のみ）

- ・概ね15cm以上（除雪車出動程度）の降雪時に止んでから作業に入ります
 - ・降雪量により作業に入るまで数日お待ちいただく場合もございます
 - ・時間の指定はできません ・屋根の雪下ろし等、高所での作業はできません
- 作業料金 1,871円/1時間 より（交通費別途）
除雪機を使用する場合は追加で1,650円



【事前受付期間】

11月5日(火)～11月8日(金) 午前8時45分～午後5時30分

高齢者就労センター（42-3335）へ電話申込

※おかけ間違いのないようお願いします。

※受付上限数に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。



▶ 高齢者就労センターの現状について

現在、高齢者就労センターでは随時、新規会員登録の募集を行っておりますが、会員数の減少が続いており、ご依頼をいただいても、作業内容によってはお断りをせざるを得ないケースが増えております。

今後もこのような状態が続くことが予想され、ご依頼をいただく皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、現状についてご理解をくださいますようお願いいたします。

▶ 新規会員の募集について

概ね60歳以上で、健康で働く意欲のある方であれば随時、会員として登録が可能です（登録料は無料）
皆様が培った技能を、地域のために役立ててみませんか？

説明を聞いてみたいということでもかまいませんので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

- <主な作業内容>
- ・草刈（町内の公園・公共施設まわり・一般住宅等）
 - ・草取（一般住宅 ※主に女性会員の方が対応しています。）
 - ・庭木のせん定
 - ・資源ごみ収集作業（音更町リサイクルセンター）
 - ・冬期間の除雪作業 ほか

